

うんどうかい



北小学校



南小学校



保育園つくしんぼ



>> Vol.44 町長コラム

このコーナーでは毎号、小園町長が町民の皆さんに届けたいメッセージを綴ります。

Xのフォロワー数が1万人を超えました



私は、平成31年の初当選前からX(旧Twitter)による発信を続けてきております。称賛されることもごくまれにありますが、ご批判をいただくことのほうがずっと多いのかもしれません。令和元年東日本台風の際は、災害対策本部長としてリアルタイムで発信を続け町民のみならず近隣市町村の方から「あれは助かった」と後々までお褒めの言葉をいただきましたが、同時期にしなの鉄道にからめた投稿で「炎上」する経験もしました。そんな「表裏一体」の感覚もネットならではのかなと思います。

そんな私のXアカウントですが、本年6月14日に、フォロワー数が1万人を超えました。昨年11月はじめくらいには4300人台をウロウロしていたと記憶にあるので、そこから半年余りで倍以上になったこととなります。

年が明けてからは、町内外でお目にかかるかたがたから「Xいつも読んでますよ!」と声をかけていただく機会が明らかに増えました。自分自身が注目されることはあまり意識していません。何らか心にフィットする投稿から御代田町という場所に興味を持ってもらい、将来の移住につなげたり、ふるさと納税にご協力いただいたりというゆるやかなつながりを大事にしたいと思っています。実際に効果が出ていることもまま実感します。

「町長の仕事をちゃんとできているのか?」という声もあるようですが、首長の仕事は元来大変幅広いものである上に、時代によって変化もしてきました。現在では首長の本来業務の一つとして位置づけるべき状況になってきたと考えています。むしろ、首長が効果的な発信をできていない自治体は今後割を食う立場になっていくと思います。

もちろん、広報担当者をはじめとした職員全体のレベルアップにより、「町公式」による発信の強化も大変重要です。ホームページの改修、プレスリリース等報道機関への情報提供のあり方の検討、そして何より、職員全体が自らを広報パーソンととらえて業務を進めていくことが大事だと思います。町民の皆さまのご助言を賜れましたら幸いです。

御代田町の皆さん、はじめまして!私たちが、新しい「地域おこし協力隊」です!

今年度より新たに着任した2名の地域おこし協力隊を紹介します。町外から移住し、町のために活動する2人の応援をよろしくお願いします。



- ①移住定住支援
- ②空き家対策
- ③浅間国際フォトフェスティバルのサポート



このとしはこ
今野 利彦さん
前居住地：埼玉県富士見市
着任日：令和7年6月2日

地域おこし協力隊になった経緯

登山が趣味で、以前から浅間山の自然に惹かれ御代田町をたびたび訪れていました。この地域の魅力をもっと多くの方に知ってもらいたいという思いから、映像制作や情報発信のスキルを活かし、地域おこし協力隊として活動することを決意しました。今後は、町の自然や暮らし、文化を映像で伝え、移住や観光促進に貢献したいと考えています。

町民のみなさんへ

映像制作を通じて、御代田町の魅力を発信していきたいと思っています。町の自然や歴史、日常の風景を地域の皆さまと一緒に再発見し、多くの人に伝えていく活動をしていきます。町民の皆さまとお話できることを楽しみにしていますので、見かけた際はぜひ気軽に声をかけてください!



まちなが きくよ
待永 喜久代さん
前居住地：東京都杉並区
(ご近所は阿佐ヶ谷姉妹)
着任日：令和7年5月1日

地域おこし協力隊になった経緯

都市部で生まれ育ち田舎暮らしは未経験ですが、いつかは長野に移住したいと夢見ていました。ここ数年の間には野菜の栽培を学んだり、運転免許を取得するなど、気付けば心も体も移住の準備が整ってきていて、そんな時に御代田町の地域おこし協力隊の募集を知り、風土と住まわれている人々の雰囲気がとても良い感じだなと思いました。暮らしたいと思った場所で、その地域のために活動できる素晴らしい機会だと思って応募しました。

町民のみなさんへ

まずは町を知るところから始めますので、長く住まわれている皆さまも、移住先としてこの地を選んだ皆さまも、御代田町のことを何でも教えてください。町で見かけたら気軽に話しかけてもらえたら嬉しいです。

多くの方と知り合い、協力しながら、御代田町をより住みよく豊かで楽しい町にするように活動していきたいと思っています。どうぞよろしくお願い致します!

情報発信していくので、ぜひフォローしてください!



地域おこし協力隊
Instagram